



On the Contrary の語法について : 書かれた英語を中心に

井口, 淳

(Citation)

神戸大学国際コミュニケーションセンター論集, 3:1-14

(Issue Date)

2006

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/00519044>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00519044>



On the Contraryの語法について

— 書かれた英語を中心に —

井口 淳¹

1. はじめに

On the contrary の語法については辞書に記載があるが、それぞれの説明に微妙な相違があって分かりにくいことが多い。

拙論では、種々の辞書や文法書の記述を比較考量し、WordbanksOnline などの電子コーパスから得られた資料を参考にして、この語法の特徴を明らかにしたい。

2. 先行の記述から

On the contrary の用法には、次のような説明がある。

(1) *On the contrary* is used for denying a statement: *This problem is not trivial; on the contrary, it is extremely serious.* This expression should not be confused with *on the other hand*, used for adding new and contrasting information: *This problem is not trivial; on the other hand, we have plenty of time to remedy it.*

(Greenbaum and Whitcut : 167)

「On the contrary はある叙述を否定するために使用される:『この問題は些細なことではない; それどころか(on the contrary) 極めて重大である。』この表現は on the other hand と混同してはいけぬ。On the other hand は新しい対比する情報を追加するために使用される:『この問題は些細なことではない;しかし他方では改善する時間はたっぷりあるのだから。』」

Michael Swan (1995) もほぼ同じ趣旨のことを述べている。

(2) In modern English *on the contrary* is used to contradict — to say that what has been said is not true. If we want to give the other side of a question, we use *on the other hand*, not *on the contrary*. Compare:

‘I suppose the job wasn’t very interesting?’ ‘On the contrary, it was fascinating. I loved it.’

The job wasn’t very interesting, but on the other hand it was well paid.

(NOT … ~~on the contrary, it was well paid.~~)

(Swan:147)

「現代英語では on the contrary はきっぱり否定するために — 言われたことが真実ではないということを使うために — 使用されるのである。ある問題のもう一つの側面を提示したいとき on the contrary ではなく

¹ 神戸大学国際コミュニケーションセンター igisolac@kobe-u.ac.jp

on the other hand を用いる。次を比較せよ。

『その仕事は面白くなかったんでしょ』『いえいえ、とりこになってしまったよ。大好きになったよ』

『その仕事はあまり面白くなかった。しかしながら、報酬はよかったよ。』

(この場合 on the contrary は使用しない)

上記 (1)(2) ともに、on the other hand の意味のところに、on the contrary は使用されないとしている。しかし次のような例がある。

(3) Eliot and Empson take off their poet's hat, and wear a critic's hat — that at least is the decorous illusion which, by their style and procedures, they try to maintain; Pound and Dryden *on the contrary* wear the poet's hat all the time, even when they criticize. (BNC:24A1B)

「エリオットとエンプソンは詩人の帽子を脱ぎ批評家の帽子をかぶっている — これは少なくとも彼らの文体と方法によって彼らが維持しようとする上品な幻想である — しかし一方でパウンドとドライデンは、批評する時でさえも絶えず詩人の帽子を着用している。」

この例からは、エリオット、エンプソンとパウンド、ドライデンを対比的に述べているので、(1)(2)で否定される「対比」を示す用法は実際に存在すると言える。この用法は、たまたま見られる特殊な用法なのであろうか。それともある程度定着した語法なのであろうか。この事実は、英和辞典の幾つかにも記載があって、例えば『ジーニアス英和辞典』(第三版)では、

(4) on the contrary 1 [文頭で](相手の言葉を否定したり、自分の否定的な意図をはっきりさせて)それどころか (far from that) 《◆後に話し手の意見や逆の事実が示される》| “Your mother looks young.” “On the ~ (7), she is already forty.” 「君のお母さんは若く見えるね」「とんでもない、もう 40 歳だよ」. 2 [文中で]それに比べて、しかしながら | Food was abundant; water, on the ~(8), was running short. 食物はたくさんあったが、それに比べて水は不足してきていた。 (ジーニアス英和³, s.v. *contrary*)

の 2 で示すように、「対比」的な用法は可能としており、『ウィズダム』においてもその旨の記載がある。Huddleston, et al. (2002:778) では、Types of pure connectives の Addition and comparison (likeness and contrast)の項目に on the contrary を分類しているが、addition なのか comparison のどちらに入るのか、については記述がない。

一体、on the contrary には(3)(4)に示すような「対比」的な意味を一般に持つことがあるのであろうか。あるとすれば、どの程度定着した語法なのであろうか。これが第1の疑問である。

ところで、on the contrary が(1) や(2) に示すような単純な意味だけではなく、幾つかの意味を持ちうることは明白である。

最も権威ある学習用英英辞典とされるものでは、

(5) **on the contrary** used to introduce a statement that says the opposite of the last one: ‘It must have been terrible.’ ‘On the contrary, I enjoyed every minute.’ (OALD⁷: s.v. *contrary*)

「on the contrary 前述の反対のことを言う陳述を導入するために使用される: 『散々なものだったに違いない』『全くその逆で、一瞬一瞬が楽しかったよ』」

のように、簡単にしか記載がない。しかし次の辞典の説明を見られたい。

(6) ③ You use **on the contrary** when you have just said or implied that something is not true and are going to say that the opposite is true. □ *It is not an idea around which the Community can unite. On the contrary, I see it as one that will divide us.* ④ You can use **on the contrary** when you are disagreeing strongly with something that has just been said or implied, or are making a strong negative reply. □ ‘*People just don’t do things like that.*’ — ‘*On the contrary, they do them all the time.*’ (Collins Cobuild⁴, s.v. *contrary*) 「③何かが真実ではないことを言うか含意し、その反対が真実であると言おうとする場合にon the contrary を使用する。□ 『その考えは住む人々がそれを中心に一致団結できるようなものではない。その逆で私たちが分断する考えだと思う。』 ④ 直前に言われたか含意されたことに対して、強く反対しているか強い否定的な返事をしている時に on the contrary を使用する。□ 『そのようなことは皆しないよ』 — 『とんでもない、いつも皆やっているよ。』」

とあって、この(6)のCollins Cobuild⁴の③の場合でsomething is not true とあるのは、「否定文」のことであろうか。前述の(5)の例文では、‘*It must have been terrible.*’とあって、「否定文」ではない。(6)では、「否定文」とは断定せず「何かが真実ではないこと、該当しない[当てはまらない]こと」を示す前文に対して「そうではない」と訂正をする場合の語法であると言っているようである。ただ、(6)であげられている例文は全て否定文である。このことに関しては、金子(1991)が収集した例文から判断して、

(7) … on the contrary の前にきている文がすべて否定文であるということである。だいたいこれが原則であると思っていてよい。多くの場合に〈否定文 + on the contrary + 肯定文〉の形式をとるものなのである。OALD の contrary の項にある説明によると、on the contrary は “phrase used to make a denial or contradiction more emphatic” なのである。すなわち、「否定文」で示した否定の内容を「肯定文」で “more emphatic” にしようとする場合に使われる「つなぎ」の transitional phrase なのである。 (金子: 122)

と言っている。この説明の趣旨は〈否定文 + on the contrary + 肯定文〉であるので、その通りである可能性が強いが、引用された OALD の説明を確認すると 3 版であって、denial という語が見える。ただし、denial とははたして「否定文」なのであろうか。そうではなくて、この denial は前文で述べたことを「否定」する内容を指しており、その前文否定をさらに強調するのが on the contrary という語法ではないのだろうか。いずれにせよ、金子(1991) が収集した例文に基づいて主張するのは、前文が否定文であるという点であることは間違いない。ここで疑問、すなわち on the contrary の前の部分は本当に否定文がくるのかどうかという第 2 の疑問が生じる。

さらにもうひとつの第 3 の疑問点が湧き上がってくる。(6) の③で言うthe opposite is true の opposite とは何に対する「逆」なのであろうか。(5) の OALD⁷ のa statement that says the opposite of the last oneという

記述によれば、the opposite とは前文の内容の否定[逆]となるはずである。しかし、(6)の例文□ *It is not an idea around which the Community can unite. On the contrary, I see it as one that will divide us.* では、むしろ否定されているのは「一致団結できる考え」の部分であって、前文の全体「一致団結できる考えではない」ということを否定しているのではない。この例文の意味は前文で延べたことを敷衍・強調して「それどころか」と言っているように見える。

次のある小説からの引用を見ていただきたい。

(8) She asked where I was staying. I gestured vaguely.

‘Down there,’ I said. ‘Along past the church.’

‘In a house or a hotel?’

How quick she was. I considered lying — ‘The Golf Hotel, actually’ — but saw where a lie could lead me.

‘A chalet,’ I said, mumbling.

She nodded thoughtfully.

‘I’ve always wanted to stay in a chalet,’ she said.

This was no comfort to me. *On the contrary*, it caused me to have a momentary but starkly clear image of the crooked little wooden outhouse standing amid the lupins across from my bedroom window, and even seemed to catch a dry, woody whiff of the torn-up squares of newsprint impaled on their rusty nail just inside the door. (Banville: 79)

「私がどこに滞在しているのか彼女が聞いた。私はあいまいに指差した。

『あそこだよ』と私は言った。『教会を向こうに行ったところだよ』

『家なの、それともホテル?』

彼女はとても理解が速かった。私は — 『実はゴルフホテルだよ』 — と嘘をいうことを考えた。でも嘘についてもどうなるか分かっていた。

『バンガローだよ』と私は口ごもって答えた。

彼女は思慮深げにならずいた。

『私はバンガローに滞在したいといつも思っていた』と彼女は言った。

このことは私には全く慰めにはならなかった。慰めになるどころかその言葉によって、私の寝室の窓の向かいにある、形がゆがんでいる小さな木製の納屋が、ルピナスのなかに立っている姿を瞬時ではあるがはつきりと思ひ浮かべた。そしてドアのちょうど内側に錆びた釘に突き刺されている、四角に引き裂かれた新聞記事の乾いた木質の微香を捉えたようにさえ思えた。」

ここでは、This was no comfort to me. というところ全部が on the contrary に続く文で否定されて、「慰めになった」と言っているのではない。すなわち彼女の言葉は「慰めにならない」どころか、惨めな情景を思い起こしてしまったと述べているのである。

上の第 3 の疑問について、敷衍・強調の作用があるかどうかという点に解答を宛ててくれるように見えるのが次にあげる辞典の解説である。(5)の対抗馬とも見なされているこの辞典では、quite the contrary と同義とし、それと共にあわせて記載されている。On the contrary の関連部分だけをあげると、

(9) **on the contrary** used to add to a negative statement, to disagree with a negative statement by someone else, or to answer no to a question: *It wasn't a good thing; on the contrary it was a huge mistake.* | *'I suppose your wife doesn't understand you.'* *'On the contrary, she understands me very well.'*

(LDOCE⁴, s.v. *contrary*)

「**on the contrary** 否定的陳述に付言したり、他の人の否定的陳述に反対したり、疑問に否定的な答えをするために使用される: 『それは運がよくなかった; それどころか大きな手違いだった』 | 『君の奥さんは君を理解していないようだ』 『いや、とんでもない、非常によく分かってくれているよ』」

ここでは、かなり詳しく記述されており、to add to a negative statement すなわち「否定的内容の陳述に付言するために」 on the contrary が使用されているとしている。the opposite という表現を使用せずに、ここで add という語を用いたのは適切な説明であり、核心に迫っているといえよう。

前述部分が否定文かどうかの、第 2 の疑問については、やはり断定できない。(5) の OALD⁷ の説明に関しては(9) の LDOCE⁴ の後半部分の to disagree with a negative statement by someone else に当てはまるといえる。しかし前述したように(5)の *'It must have been terrible.'* は肯定文であって、内容を否定的に述べた文なので、(9) の a negative statement は否定文と言うよりも、「否定的内容の陳述」となると推測できる。従って、冒頭の used to add to a negative statement も、否定文ではなく、「否定的内容の陳述に追加するために使用される」とするべきであろうか。

さらに不可解なのは、例えば (3) のような「対比」を表わすように見える例文では、先行の文は否定文でないし、「否定的内容の陳述」が行なわれているわけでもない。むしろ、純然たる肯定文である。後続の文によって、先行の文が決定されるのはあり得ないとすると、先行の文によって後続の on the contrary の意味が規定されるのであろうか。

3 調査方法・結果・考察

書かれた(written)英語と話された(spoken)英語では語法にも違いが見られるが、ペーパーバックなどの書かれた英語における英語の語法、特に on the contrary の用法にはどのような特徴があるのか、とりわけ上の節で述べた 3 つの疑問点に解答はあるのかについて調べてみたい。

そこで WordbanksOnline を利用して調査してみることにした。この WordbanksOnline は、HarperCollins 社が公開している 5,600 万語の電子コーパスであり、5 億語を含むといわれる世界第二のコーパス Bank of English (BOE) の一部を形成しており、公開可能な Subcorpora として検索サービスに供されている。Subcorpora としては次のものがある。WR/SP の区別は Written か Spoken を示す。

(10) BBC World Service radio broadcasts (SP) / US National Public (SP) / Australian newspapers (WR) / UK Sun newspaper (WR) / UK Times newspaper (WR) / UK Today newspaper (WR) / UK books; fiction & nonfiction (WR) / UK ephemera (leaflets, adverts, etc) (WR) / UK magazines (WR) / UK transcribed informal speech (SP) / US books; fiction & nonfiction (WR) / US ephemera (leaflets, adverts, etc.)(WR)

上記を見ると、このコーパスはため、イギリス英語に偏っているように見えるが、幸いなことに books; fiction

& nonfiction (WR)については英米共に利用できる。そこで、fiction と nonfiction に関してのみ英米でどのような特徴が見られるのかに関して調べる。

3.1 On the contrary の意味、前文の形、出現位置

まず第 1 回目の調査については、Subcorpus を UK books (連合王国の書物) に指定した。当然 Written であり、語数は 5,172,540 語である。WordbanksOnline に占める比率は 9.67% に当たる。On the contrary の出現例は、76 例であった。1 例ずつ開いて読み、on the contrary が有するであろう意味を判定し、その前に来る文の形を調べ、加えて on the contrary が生起する位置を確認した。次に第 2 回目は、Subcorpus を US books (米国の書物) に指定した。語数は 5,410,862 語で、WordbanksOnline 全体の中では、10.12% となる。On the contrary の出現例は、78 例であり、UK books と同じ作業を US books に関してそれぞれの例について繰り返した。なお、Subcorpus を指定しなければ、すなわち 地域的には UK、US、Australia の合計で、また、種々の media 全体で 251 例ある。

3.1.1 意味について

具体的に述べると、まず意味については、以下のア ~ ウ があるが、エ 判読不能なものも若干あった。

ア 「とんでもない」

イ 「それどころか」

ウ 「しかし」「ところが」「それとは対照的に」

エ 判読不能

代表的な例として、ア の「とんでもない」となるものを 1 例だけ引用すると、

(11) “ ... Führer, thank God, is entirely safe. There was an attempt to kill us all. Several dead, many injured. It ’s been terrible! But by some miracle the Führer, although injured, survived.”

“ He’s not -- incapacitated?”

“*On the contrary*, it happened just before one ’clock and at one-fifteen he appeared among us all having been patched up, changed his clothes, looking cheerful and composed.

He’s truly wonderful, Fromm.

We’ve had the Duce here -- he ’s still here....”

(WordbanksOnline:ukbooks0007,No4)

『「総統はありがたいことに全く無事だ。私たち全部を殺戮しようとする企てがあったのだ。数人が死に、多くが怪我をした。本当にひどいものだった。しかし奇跡によって総統は怪我をされたが命は助かったのだ。』
『総統は — 駄目になっていないのですか』

『とんでもない、その逆で、事件はちょうど 1 時前に起きて、1 時 15 分には総統は応急処置をされ、服を着替え元気で落ち着いた様子で私たちの間に現れたのだ。彼は本当に素晴らしいよ、フロム。首領はここにいるのだよ — まだここにいなさるのだよ……』

次に イ の「それどころか」となるものを 1 例のみあげる。

(12) ... This strategy preserved the integrity of normative functionalism by maintaining that the contribution of

religious values to the stability of the US social system had not been usurped or cancelled out. The system, *on the contrary*, continued to be essentially guided by values which were rooted in religion – as they had been at least since the creation of the independent USA.

The constitutional separation of state and religion... (WordbanksOnline: ukbooks0040, No. 37)

「… 宗教的価値基準があつてはじめて米国の社会制度が安定しているのもであつて、その宗教の貢献が侵されていない、あるいは無くなつていない、ということを手張すること、この戦略は規範に基づいた機能主義の健全さを保持していた。侵されていない、無くなつていないと述べたが、それどころか実は、米国の社会制度は — 少なくとも独立国である米国の建国以来、価値基準が宗教に根付いていたように — 宗教に根付いた価値基準によって本質的に導かれつづけていたのだつた。国家と宗教の組織上の分離は……」

上の例では、had not been usurped or cancelled out に関して、実際に *on the contrary* が否定するのは usurped とか cancelled out の意味であり、前の文の内容全部に関しては、「それどころか」と前述の否定を強調しているのである。すなわち、上の節の第 3 の疑問点の一部について、解答を与えてくれている。ただし、量的な結果については、後で述べる。

さらに ウ の例と同じ内容の「対比」的な用法に関しては、「しかし」「ところが」「それとは対照的に」となる例を、1 例あげる。上の節の第 1 の疑問点に関しては、確かに「対比」的な用法はあるようである。量的結果については、同じく後で述べる。

(13) ... he devised a quaint theory that described non-Western cultures as “tribute-paying formations” characterized by a concordance or compatibility between non-despotic social organizations and productive forces. In Europe, *on the contrary*, feudalism, despite or because of its violent history, had not achieved such harmony and thus had let loose economic forces leading to capitalism.

In this work, Amin managed the astounding feat of sounding more radical than ever yet at ...

(WordbanksOnline: ukbooks0021, No.22)

「…彼は非ヨーロッパ文化を描写するのに、非専制的社会組織と生産力の間が調和している、もしくは融和適合しているという特徴がある『貢物を支払う構造』というように説明して、奇妙な理論を考え出した。それに対して、ヨーロッパでは、激しい歴史にもかかわらず、あるいは激しい歴史を有するがゆえに、封建主義は非ヨーロッパ圏のような調和は達成せず、かくて経済力を解き放ち、それが資本主義に至つたのである。

この作品では、アミンはかつて無いほど急進的に聞こえる驚天動地の偉業を成し遂げたのだ……」

上の例では、明らかに *on the contrary* を仲立ちにして、非ヨーロッパ圏とヨーロッパ圏が対照的に扱われている。

以上、ア ~ ウの例を、1 例ずつあげておいたが、それぞれの出現の割合に関しては、表 1 を見られたい。

圧倒的に、イの用法が多く、ア と ウもかなり見られる。辞書や文法書などの記述から予想されることに反して、ウの *on the other hand* を意味する用法も容認されているといえよう。また、注目したいのは ア の場合は 13 例が対話の形をとっており、残りの 2 例も間接話法で対話形式をとっている。

表 1 On the contrary の意味

	ア	イ	ウ	エ	合計
UK	13	44	12	7	76
US	4	58	14	2	78
total	17	102	26	9	154
%	11.0	66.2	16.9	5.8	99.9

3.2.2. On the contrary の前位置の文の形

On the contrary の前位置の文の形には次のようなものが考えられる。

- A 否定文
- B 疑問文(否定)
- C 命令文(否定)
- D 命令文(肯定)
- E 肯定文
- F その他
- G 不明

上で、不明とあるのは、検索の画面で on the contrary を含む文が第一文であり、前述部分がスクリーン上に無い場合である。

表 2 On the contrary の前位置の文の形

	A	B	C	D	E	F	G	合計
UK	48	2	1	1	18	1	5	76
US	51	1	0	0	23	1	2	78
total	99	3	1	1	41	2	7	154
%	64.3	1.9	0.6	0.6	26.6	1.3	4.5	99.8

E の肯定文が 41 例という結果は、かなり多いように見えるが、

(14) ... It would be a mistake, however, to assume that Marx, Durkheim, Weber and Troeltsch provided “theories” of industrial society with a determinate place for religion. *On the contrary*, they provided extensive analysis of the past and of the transformations through which their societies were passing. There were also broad intimations of the future direction of social change, but....

(WordbanksOnline:ukbooks0040,No.36)

「・・・けれどもマルクス、デュルケーム、ヴェーバーやトレルチが産業社会に関する『理論』に宗教の確固たる場所を与えたと仮定するのは間違いであろう。間違いであるどころか、彼らは実は過去と、彼らの社会が経験しつつある変容、その両者に対する広大な分析を提供したのだ。社会がどのような方向に将来変化していく

のかに関して広く暗示されてもいたが、……」

のように、a mistake というような否定的内容をもっている。すなわち、

(15) **mistake** *noun* 1 an action or an opinion that is not correct, or that produces a result that you did not want: ... (OALD⁷: sv. *mistake*)

であるから、ある意味での「否定文」といってよいであろう。他に be mistaken という形もあった。また、

(16) ... The important thing to grasp is that the appeal of these fashionable art forms has little to do with any specifically aesthetic or artistic potential they may have. *On the contrary*, the chief appeal of photography, film, and video is that their “mechanical reproducibility” (to adapt a phrase from Walter Benjamin’s adored essay “The Work of Art in the Age of Mechanical Reproduction”) promises to demystify both....

(WordbanksOnline:usbooks0021,No.13)

「……理解するべき重要なことはこれらの当世風の芸術形態の魅力は、それらが有するかもしれない特別な美的もしくは芸術的可能性のどれにもほとんど関係が無いということである。それどころか、写真、映画やビデオの主な魅力は(ワルター・ベンヤミンの皆が崇める『機械的再生産の時代における芸術作品』という論文の句を使用すれば)それらの『機械的再生産性』が謎を解いてくれる見込みがあるということなのだ……」

のように、little が含まれる場合がある(合計 2 例)。次のような例もある。

(17) ... In a country much closer to Africa, such as Brazil, where slave prices were accordingly cheap slaves might be worked to death and then replaced by new arrivals, but this was too costly to be done in the United States. *On the contrary*, it was common for Southern slaveholders to hire white workers, often Irish immigrants, to do work considered too dangerous for slaves.... (WordbanksOnline:0033,No.40)

「…ブラジルのようなアフリカにずっと近く、近いが故に奴隷を安く買える国では、奴隷は酷使され死んでしまい、その場合には新しく来た奴隷がとって代わることになった。しかし米国ではそれは高くつきすぎて出来なかった。できないどころか、実は、南部の奴隷所有者は、白人の労働者 (アイルランドからの移民が多かったのだが) を雇うのが通例であった。奴隷には危険すぎると思われる仕事のために……」

この場合は、too ... to に含意される否定的意味合いに on the contrary が続くものであろう。

(18) ... It is clear that in employing vernacular languages for translation, missionaries saw these languages as more than arbitrary devices. *On the contrary*, they saw them as endowed with divine significance, so that they may substitute completely for the language of revelation.... (WordbanksOnline:ukbooks0055,No51)

「… 翻訳に諸地方語を採用する時、伝道師たちはこれらの言語を恣意的な方策以上のものと見たのは明白である。それどころか、伝道師たちは諸地方語を神聖な意義を賦与されているものと見たのだ。だからそれら

の言語は啓示の言語に完全にとって代わるかも可能性もあるのだ……」

では、more than ～ に、否定的言辭が読み取れる。

その他の例としては far from ～ing、inappropriate、apolitical、seldom、found it hard、consider it an affectation to say that.... といった否定的表現があり、UK で 4 例、US で 8 例、合計 12 例は A に含めて A を「否定的内容・表現を含む文」と考え直すと、表 2 を修正した表 3 が得られる。

表 3 On the contrary の前位置の文の形(A は「否定的内容・表現を含む文」)

	A	B	C	D	E	F	G	合計
UK	52	2	1	1	14	1	5	76
US	59	1	0	0	15	1	2	78
total	111	3	1	1	29	2	7	154
%	72.1	1.9	0.6	0.6	18.8	1.3	4.5	99.8

3.2.3. On the contrary が出現する位置

On the contrary は、例えば(4) に示すように、文頭と文中に出現するという印象があるが、果たしてそうであろうか。考えられる位置は以下の通りである。

- a 文頭で
- b 文中で
- c 単独で
- d 文末で

結果を表 4 に示す。

表 4 出現する位置

	a	b	c	d	合計
UK	51	13	11	1	76
US	53	21	4	0	78
total	104	34	15	1	154
%	67.5	22.1	9.7	0.6	99.9

文頭が圧倒的に多く、続いて文中であるが、単独用法もかなり見られるようである。

3.3 意味、前文の形、出現位置の相互関係

それぞれの量的特徴は分かったが、その相互関係はどうであろうか。表 1 のア ～ ウ、表 3 の A ～ F、それに表 4 の a ～ d のそれぞれの結びつきが多いのであろうか。

表 5 意味、前文の形、出現位置の相互関係

	ア Aa	ア Ab	ア Ac	ア Ba	ア Bc	ア Ca	ア Da	ア Ea	ア Ec	ア Ed	ア Fa
UK	2	1	3	1	1	1	1	1	1	1	
US					1			1	1		1
total	2	1	3	1	2	1	1	2	2	1	1
%	1.3	0.6	1.9	0.6	1.3	0.6	0.6	1.3	1.3	0.6	0.6
	イ Aa	イ Ab	イ Ac	イ Ea							
UK	34	5	5								
US	47	9	1	1							
total	81	14	6	1							
%	52.6	9.1	3.9	0.6							
	ウ Aa	ウ Ea	ウ Eb	ウ Fa							
UK	1	3	7	1							
US	1	6	7								
total	2	9	14	1							
%	1.3	5.8	9.1	0.6							
	エ Ea	エ Fa	エ Ga	エ Gb	エ Gc	total					
UK	1	1	4		1	76					
US				2		78					
total	1	1	4	2	1	154					
%	0.6	0.6	2.6	1.3	0.6	99.4					

この結果で注目すべきは、イ Aa が 52.6%を占めるという点である。つまり、「それどころか実は」と先行の文に対して強化・敷衍をする場合は、前に否定文がくることが多く、しかも on the contrary 自体は文頭に来るということである。イ Ab が 9.1% というのは「それどころか実は」の意味で、前に否定文が来た場合で文中の位置がそれに続き、単独用法も可能である(3.9%)。

「対比」的な用法は印象的に文中が多いと思われたが、実際に数字でも確認できた。すなわち、ウ Eb において、前文は肯定文で文中の位置である(9.1%)。文頭も可能である(5.8%)。

4 まとめで代えて

以上が結果とそれに関する考察であるが、日本で出版されている英和辞典のなかで on the contrary について最も簡潔適正にまとめてあると思える『ルミナス英和辞典』の記述に関して、修正の提案を行なってまとめに代えたい。

(19) [副] つなぎ語 1 とんでもない、実はその反対で《相手や自分のいったことを否定して、その反対であるというときに用いる》: 会話 “I think he was pleased.” “*On the ~*, he was angry.”「彼は喜んだと思うよ」「とんでもない、彼は怒っていたよ」 2 それどころか、全く反対で《自分で何かを否定したあとで、実際は全くその反対であると述べるときに用いる》: I am not against the plan. *On the ~*, I am strongly in favor of it. 私は

その計画に反対ではない。それどころか大賛成だ。3 しかし、ところが、それとは対照的に《すぐ前で言及した事柄や人とこれから言及するものとを対比させるときに用いる》: I am against the plan. My father, on the ~, is strongly in favor of it. 私はその計画には反対だ。ところが父はそれに大賛成だ。語法 (3) の意味では on the other hand のほうが普通。(I.A.)

まず、1 について。On the contrary の他の用法と比べて出現比率は少ない。単独で使用されるか文頭の位置に現れる。前文は否定文がやや多く、肯定文も可能。会話 とあるが、むしろ対話とするほうが実態に近い。金子(1991)の説明方法を借りると、“I think he was pleased.” “On the contrary, he was angry.”の後者の文 “On the contrary, he was angry.” では、一文が追加されて “(I don’t think he was pleased.) On the contrary, he was angry.” ということになる。後者の文を言った人が一番言いたいのは、“He was angry.” ということ、すなわち「そうではない、その反対だ」というのが趣旨である。つまり、on the contrary によって否定されるのは not pleased ではなくて、pleased の部分、つまり前者の人が使っている pleased という言葉そのものである。ということは、全体的に言えば、括弧に囲まれた文(I don’t think he was pleased.)の全部ではなく、前の人が出した文全部を否定するということになる。それが「とんでもない」とか「実はその反対で」という日本語の訳に集約されるのであろう。(9) では ‘I suppose your wife doesn’t understand you.’ ‘On the contrary, she understands me very well.’という対話が行なわれているが、後者では ‘(I don’t think my wife doesn’t understand me.) On the contrary, she understands me very well.’ ということであり、On the contrary が否定するのは、not understand であり、(I don’t think my wife doesn’t understand me.)の一部であって、括弧に囲まれた文全部ではない。むしろ、相手が言った文全部、すなわち、‘I suppose your wife doesn’t understand you.’を否定しているのである。(6)の国もそれに該当するといえる。従って、《相手や自分のいったことを否定して、その反対であるというときに用いる》という説明は「その反対」が何の反対か分かりにくい、あるいは誤解を招くので、「その反対」を省き、また、「自分の言ったことを」の部分も対話の意味あいから外れるために省略したい。(外れた部分は次の 2 が扱うことになる。) 結局、《相手が言ったことを否定するときに用いる》とするほうが分かりやすい。この 1 の on the contrary は、実は、次の 2 の用法とは本質的に同じ用法であるといえる。

次に 2 の部分に関して述べる。《自分で何かを否定したあとで、実際は全くその反対であると述べるときに用いる》というのは、統計によると「自分で」ばかりとは限らないので省略したい。さらに、「全くその反対である」というのが何の反対なのか分かりにくい。『ルミナス英和辞典』の例文では、I am not against the plan. On the ~, I am strongly in favor of it. があがっているが、後半で否定されているのは、前半の not against ではなく、against の部分である。《何かを否定したあとで、実際は全くその反対であると述べるときに用いる》との説明は、《何かを否定したあとで、実際はその否定される何かを示す言葉の反対であると述べるときに用いる》とした方が理屈にかなっている。これでは少し分かりにくいので《何かを否定したあとで、その否定を強調する》としたほうが辞書の説明には適しているのではないか。従って「それどころか」の訳が妥当といえよう。これは、本論で提示された第 3 の疑問に答えとなる。さらに「文頭にくることが多い(時には文中)」も追加したい。また、統計上からも「前文は否定文がくるが、否定的ニュアンスを伴った肯定文も可能」という説明を入れるべきであろう。これは、本論における第 2 の疑問に答えを与えるものである。

On the contrary は機能上 1 と 2 では意味が変わらないが、学習英和辞典の観点から言うと、分けて記載するのも理解を助ける上で意味があり、1 では前の文全体が否定され、2 では「否定される語自体」を

否定しているのである。

3 に関しては、『ルミナス英和辞典』で、(I.A.) とあるのは、英国の辞書学者 Robert F. Ilson や米国の英語学者 John Algeo が述べたことを I. と A. の頭文字で略記している。そのこと自体は、反論のしようがないであろうが、prescriptive な態度はともかく、descriptive な態度をとる限り、かなり定着してきているのではないかと。本論の第 1 の疑問には肯定的な答を出してもいいように思える。さらに特記すべきは、統計的に言って、「前文には肯定文がくることが多い」という説明を追加すべきであろう (9.1% + 5.8%)。それが案外、on the contrary を含む文の意味を特定する手助けになるであろう。また、位置的には、つとに Fowler (1950, sv. *contrary*) が on the other hand と比較しつつ、「... if it (= on the contrary) stands first in its sentence it can only mean *far from that*.・・・文頭に来るのは *far from that* の意味のときのみ」としている。しかし現代英語では、「文中で使用されることが多い (9.1%) が、文頭も可能 (5.8%)」を追加したい。

引用文献

(辞書類は省略した)

Banville, J. (2005) *The Sea*. London: Picador.

Fowler, H.W. (1950) *A Dictionary of Modern English Usage*. Oxford: Oxford Univ. Press.

Greenbaum, S. and Whitcut, J. (1988) *Longman Guide to English Usage*. Harlow, Essex: Longman.

Huddleston, R. and Pullum, G.K. (2002) *The Cambridge Grammar of the English Language*. Cambridge: Cambridge U.P.

金子 稔 (1991) 『現代英語・語法ノート』 東京: 教育出版株式会社

Swan, M. (1995) *Practical English Usage*. (2nd ed.) Oxford: Oxford University Press.

On the usage of “On the Contrary”

Jun Iguchi

We can find some definitions about “on the contrary,” in English-English dictionaries, as well as in English-Japanese ones, but there seems to have been some misunderstanding about the usage of the phrase. It has often been said in some dictionaries and grammar books that “on the contrary” cannot be used in the sense of “on the other hand.” It is also unclear what kind of sentence precedes the sentence including “on the contrary.” More interestingly, what part of the preceding sentence does the phrase “on the contrary” deny? This paper deals with the above three questions, making use of what was obtained through the use of the English corpus WordbanksOnline. The following results were found: namely, ① apart from the prescriptive point of view, the use of “on the contrary” in the sense of “on the other hand” is accepted, seen from the statistical and descriptive point of view; ② when the phrase has the sense of “far from ...,” the preceding sentence is often in the negative, in place of which the affirmative sentences with negative meanings can sometimes be used; and ③ “on the contrary” denies, not all of what is denied in the preceding whole sentence, but the part (the word, phrase, or idea) of the sentence that is being denied in the preceding sentence., although, in a dialogue form, “on the contrary” sometimes comes to have the meaning of “ the opposite of what the preceding sentence means is true.”